

(会議の経過) 第4回こども指針(仮称)策定・検討部会

発言者	議題・発言内容
委員	前回の全体会での意見を受け、事務局で修正していただいた。その辺りの説明後、意見をいただきたい。事務局から説明を。
事務局	先週の5日に全体会で出た意見や、その後事務局に提出のあった意見を受け、修正をしている。 ※資料について説明。
委員	良くなっていると思う。これについて多くの意見をもらいたい。「学びの芽生え」という表現は使うものなのか。「学びの連続性」は聞くが。
事務局	文科省から出ている文章の一部を省略して使っているのだが、小学校以降の教科の内容等における実感を伴って深く理解できることに繋がる「学びの芽生え」を育てているという意味で使っている。
委員	文科省の表現としては、「小学校に繋がる学びの芽生え」ということか。
委員	文科省の指針における小学校との連続性というところでは、子どもの発達や学びの連続性を確保する観点から小学校教育への円滑な接続に向けた教育、保育となっている。幼児期に芽生えという表現は少し違うかなと思う。
委員	小学校の学習に対する「芽生え」という表現はあると思うが、幼児期は少し違う気がする。
委員	本来こども園は0歳から就学前の子の連続性を狙っているのではないか。それをどのように表現していくかということだが、「芽生え」ではない気がする。
委員	生きる力の基本の育成としての「確かな学力」のところは良いと思う。
委員	挑戦してみたい、みんなでしようよ、といった心を持つことが意欲的な学びに繋がるという意味では「学びの芽生え」なのだろうとは思う。
委員	「学びの連続性」などの表現の方がよいか。幼稚園は遊びそのものが大事。小学校を意識すると「芽生え」でも良いとも思うが、「遊び」が「学び」であり、それが小学校の学習に繋がっていく。
委員	そのように考えると、私が気になったことは、小学校の繋ぎのところが「連携評価」となっているが、狙いは「一貫評価」ではないかと思う。小学校でも何年か前から食育のカリキュラムを作っているが、「一貫」ではないかという話になり、千種では一貫カリキュラムという名前を使っている。今、狙っていることを考えると連携して学びの連結をつなぎたいということなので「一貫」ではないかと思う。
事務局	2ページの学びの狙いのところで「やってみたいな」「みんなでしようよ、楽しいよ」の表現はどうか。
委員	好奇心を持って取り組み、解決していくプロセスの中で学びがあるのが基本と思う。なので、表現だけみると低いともとれるかもしれない。いろんなことに気づき、試行錯誤しながら考えることが学びの原点だと思う。ただ、楽しいだけで終わっては、学びは生まれない。
委員	小学校になっても学習意欲が大事。「やってみたいな」は小学校でも通じる言葉であり、実験をやってみたいな、調べてみたいな、など意欲に繋がる言葉になる。「みんなでしようよ」は協力していくということつながり、それが楽しいと感じ、自尊感情のようなものに繋がっていく。
委員	幼稚園教育要領では、「やってみたい」というのは、意欲、興味関心、それから好奇心、探究心という言葉がある。本当は、探究心までいかないといけない

委員	<p>というところはある。</p> <p>ただ分かり易い言葉で表現することも大切。探究心という言葉になると難しくなってくると思うので、簡単な言葉にしたほうが良いのでは。</p>
事務局 委員	<p>「芽生え」の表現はどうか。</p> <p>「学び」は座っての学習以外も含んでいる。分かり易いかもしれないが、これが「芽生え」なのかなという違和感がある。</p>
委員	<p>全体会の意見を聞いていたら、何をポイントに作っているのかが分かりにくいとのことだった。0歳から5歳に重点を置くのか、「めざす子ども像」は4、5歳児に対するものなのか。就学前の子どもを「こんな子どもに育てたい」などの文言があるほうが、皆さんに分かってもらえるかとも思う。0～5歳のことも書いて欲しいというような意見もあったが、就学前に「こういう子どもに育てたい」というようなことがあるほうが、はっきりするのではないかと思う。</p>
委員	<p>最初の文言の方でも「めざす子ども像」の位置づけについて示した方が良い。また、めざす子ども像と、最後の具体的な子ども像の文言を揃えたほうが良い。そうするほうが分かり易くて良いと思う。</p>
事務局 委員	<p>0歳からの表現が少ないとの意見があったが、3ページの基本施策のところにも0歳のことが書いてあるのだが、他の所との兼ね合いで順番を考えないといけないと思う。子育て支援を1番に入れたらどうか。基本施策の大きな4つのくくりの中で、子育て支援は家庭が絡んでいて、あとは幼稚園、保育所のことになる。教育、保育の1番最初に0歳からのことを入れても、施設で0歳は保育でしかない。保育が必要な子どものための保育所になり、0歳からの教育という言葉はない。トータルの乳幼児期を考えたら1番は家庭になると思う。家庭をしっかり支援するということが第1に挙げておく方が良いのではないか。</p>
委員	<p>協議し始めた当初は、認定こども園の教育、保育ということだけで、子育て支援のことについてはあまり出ていなかった。子育て支援を前面に挙げたうえで教育、保育を挙げたらどうかという意見は出てきたと思う。市として就学前の子ども達を支援し、いろんな選択肢の中に幼稚園、保育所、認定こども園があるというふうにしたほうが良いのでは。</p>
委員	<p>最初のところに、宍粟の実情や家庭について触れてもいいのではないか。0歳からこども園に入り教育を受けたほうが良いということではなく、保育に欠ける子どもに保育は必要だが、本来は家庭で親と一緒に過ごすことが大事だと思う。その辺りをもっと入れたほうが良いと思う。</p>
委員	<p>家庭で育つのが1番だとは今はなかなか言えないことだが、どんな育ちの中でも家庭が基盤であることは間違いないと思う。</p>
委員	<p>そのあたりのことをもっと入れてもらえたら良いと思う。幼保一元化の話になると、就労支援のことばかりになってしまう。家庭で子どもを育てたい母親もたくさんいる。絶対にこども園に子どもを入れるということではなく、家庭での子育てを支援することを取り上げてもらえると、家庭で子育てする親の自信にもなる。</p>
委員 委員	<p>そこまでの内容を話し合っていたらもっともっと時間がかかるのではないか。この部会は宍粟のこども指針のことを議論しているのだから、子育て支援についてもここで話し合うのだと思っていた。認定こども園のことだけではなく、就学前のすべての子どもに対する市の方針を示していかないといけない。そのスタンスを示そうと思えば子育て支援のこともしっかり踏まえた中で示して</p>

	<p>いかないといけない。小学校でも子育ての基本は家庭であるということが抜けていると感じることがあり、学校は子育てのパートナーであるという言葉を使う。幼児教育は、特に家庭で親と子が共に育っていくことが必要になってくる。そんな市としてのシステム作りが必要になってくると思う。</p>
委員	<p>そもそもは、認定こども園になったらということ想定し、市民へ納得してもらうためのスタートだった。</p>
事務局	<p>最初はこども園を作るためのこども指針ということでお願いしたかもしれない。ただ、議論の中でそれだけではダメだということで、方向転換してきたと思う。「子育て支援」の表現だが、家庭に求められている子育てを、初めから支援するという示し方はおかしいように思う。子育て支援のところに背景や原因をいれ、問題提起しながら支援するという形にしてみたらどうか。</p>
委員	<p>初めに「教育、保育施設」という文言が入っている以上は、何もかもを網羅する必要はないと思う。そこに集中すべきと思う。</p>
事務局	<p>認定こども園に限った内容ではないのだが、認定こども園についてはいえば、「子育て支援」というものが1つの大きな機能になってくるので、触れておく必要はある。</p>
委員	<p>ここに示していることは、認定こども園に限ってのことではないと思う。ライフスタイルに応じてということ。子育て支援の表現についてはどうか。</p>
委員	<p>子育て力を高めるというイメージか。</p>
委員	<p>親学習や親支援のような感じになるかなと思う。</p>
委員	<p>あくまでもここは子どもを対象にした方がいいのではないかな。親のことまで考えていたら大変だと思うが。</p>
委員	<p>はじめにのところに「家庭や地域の子育て力の低下」が出ているが、今の親の子育て力が低下しているという表現はどうかと思う。</p>
委員	<p>それならば、施策なので、子育て力の向上と表現したらどうか。</p>
委員	<p>低下だけではなく、初めて子育てする方は、初めてで分からないのは当然で、向上を目指すという意味でよいのではないかな。分からないから一緒に向上していきましょうという捉え方でよいと思う。</p>
委員	<p>「幼稚園教諭・保育士をはじめ子育て支援に関わる方々に幅広く活用頂くとともに、保護者や地域の理解の中で、家庭と地域、教育・保育関係者等が一体となったこども子育て支援の取り組みの拡がり」とある。地域という言葉が多くあるが、「一体となった幼児教育の推進」のような言葉も必要ではないかな。子育て支援も大事だが、総合的な幼児教育を目指すような文言も必要かと思う。国で制定された子ども・子育て支援法では、幼児教育、保育、子育て支援も全て含めて広く子育て支援と表現されており、それにならい、広く含めて「子ども・子育て支援の取り組み」という表現にしている。</p>
事務局	
委員	<p>「こども園」という言葉を「教育・保育施設」に置き換えているが、先日の全体会で、ガイドラインのハードルが高いという話が出た。認定こども園に立候補しない私立の保育所にも適用されるととらえてよいか。「こども園」になっていたときは認定こども園に対する施策として考えられたが、それを外すことで目指すところが薄れているかなとも感じる。</p>
事務局	<p>宍粟の子どもを就学前にこんなふうで育てていきたいという思いがある。認定こども園でなくても、保育所にも市が公費を出している以上、この指針により関わっていきたいと思う。</p>

委員	認定こども園に限らず、現幼稚園、保育所にも適用するという事で、「教育・保育施設」ということにしたが、それで良いのかなとは思う。「教育・保育施設」の前に幼稚園、保育所、認定こども園という言葉を入れるなど、少しは認定こども園という表現が入っていても良いかと思う。
委員	全て挙げたらいいのではないか。幼稚園もあり、保育所もあり、認定こども園もあるというようにしたらどうか。
事務局	過渡期も含め、認定こども園を目指していく。表現を考える必要がある。
委員	他にはないか。形になってきているので、最終のまとめは私に任せてもらってもよいか。その後、部会のメンバーに伝えていく。
事務局	本日の意見を整理し、調整は会長とさせてもらい、その後、皆さんに見ていただきたい。こども園の運営のあり方部会は昨夜が最終会となった。次も部会を開催するのか、全体会にするのか決めていただきたいと思う。
事務局	指針に盛り込めない意見については、別に意見として残していき、教育委員会での審議の場に伝えていきたい。
委員	それでは最終のまとめは私にらせていただき、部会としては本日が最後とさせていただきます。
委員	※了承